

スペースランド技術研究組合の概要

組合名：スペースランド技術研究組合（略称：S L J）

組合員：T I Sソリューションリンク(株)、(株)ウェルリサーチ、(株)エース・コンピュータ・サービス、スペースアクセス(株)、日本無人機開発合同会社、村田システムコンサルタント事務所、山勝スペースコンサル、山口宇宙利用コンサルタント事務所（4企業、1合同会社、3個人事業）

事業費：29年度400万円

事業の概要：宇宙利用事業の創出と推進のための研究開発。

○組合設立の目的

- ★地球環境保全、資源開発、安全保障、観光、レジャー、不動産など、あらゆる産業分野に対する宇宙利用機械の提供。
- ★宇宙利用産業の利益型事業化の実現。
- ★エアロンチなどの即応型の衛星打上機会の提供。
- ★宇宙利用の基礎研究、および衛星の開発→試験→打上→運用までのワンストップサービスの提供。

○実用化のイメージ・メリット

組合員の有する宇宙開発技術をコンポーネントレベルあるいはサブシステムレベルで具体的な製品として開発実証し、国内の宇宙システム開発のユーザーと情報を共有することで、まずは国内の高性能宇宙用機器ユーザーへの供給を実現し、国内の宇宙機器の開発と供給体制を強化する。これによって輸入に頼らず国内での供給と内需との体制をより強固なものとし、衛星システムメーカーの国際市場での競争力向上に貢献し、宇宙産業化の促進に寄与する。

○事業化の目途の時期

2018年度までに、現在進めている地上実証を宇宙実証へと移行し宇宙実運用レベルを獲得し、2019年度までに製品化と販売実績を持つ。



